

「万軍の主の熱心」

～あなたは受け取っていますか？～

イザヤ 9:1～17

キヌアット・アドナイ＝嫉妬という意味があります。神様は妬む神と言われます。なぜならそれだけあなたを愛しているからです。その愛というのはいくらも燃え尽きる火のように自らをすり減らして表した命がけの愛です。私達がろうそくの火をともしながらアドベントの第一週目におぼえなければならない事は、そのような神様の熱心を受け止めているかどうかです。神様のなさる業は量り知ることができません。ろうそくの火の姿というのは、あなたなのです。真庭あぐりガーデンの点灯式で光が灯ったときに歓声があがっていました。そのようにあなたの灯火の姿を見て、歓声があがらなくてははいけません。その点灯式で子どもが泣いていました。「これじゃなきゃ嫌だ」と泣いて暴れていました。現代の社会とはこのようなものでか。昔品という、たとえ何か物が壊れたとしても何か代用品を作りました。貧しかった時代を知っている人は無いものを作り出そうとします。しかし現代では、必要とするものはスーパーやホームセンターどこかで手に入れることができます。必要なものがすぐに手に入る、そのような事からも私達の視線はあまりにも狭くなっていて、「これ！」と自分が決めたものが無ければ安心ができなくなってしまいました。あなたはそうようになっていませんか？

イエスキリストが当時、イザヤ書のみことばのもとに誕生しましたが、人々は自らが“これ！”と思っているものではなかったの、イエス・キリストを十字架に架けました。私達が“これ！”と思って決めた事をできないことがストレスになる事それは、私達の狭くなってしまった視線であり、これは非常に恐い事です。私達はすぐに答えが出ないと不安になります。クイズ番組や水戸黄門の視聴率が良いのは終わりには答えが出るからなのです。答えが出たり、ストーリーがわかるので安心するのです。しかし人生はそうわけにはいきません。神様は良い神であり、害を与えることはありません。しかし神様がこの悪い社会の中で人間の中に与えられた様々なとげを通してそれを生かすことがあります。

KIKI さんの歌の中にありました、スーパーマンという人は普段はあまりにもダサくてくだらない人です、ある日彼は悩みました。本当はそんな姿じゃないのに、このまま周りの人に馬鹿にされているままでいいのか、何かしなくては…。そんな彼にある日、お父さんは言いました。「おまえの役割はそんなことか、使命があるだろう」そしてスーパーマンは使命に立ち返るそんなストーリーです。

イエスキリストが使命に生きたように、私達に与えられているこの人生のろうそくの炎は何なのかということはこのクリスマスの日に考えなければいけません。世の中のクリスマスはハッピームードで喜ばしい日です。もちろんクリスマスチャンにとっても喜びであります。しかし神のあり方を捨てることはできないとは考えず、ご自分を無にして来るということが、果たして自分にはできるかどうかと考えます、全ての汚名を着て、国家権力に命をつけ狙われて、罵倒され、屈辱をうけ、その為に生まれてくる事がわかっていて生まれてくるのです。みなさんできますか？生涯その人生はつばをかけられるのです。その為に生まれて来てくれたことを喜ぶ日ですが、クリスマスを迎えるその暗闇の心を思うと、この時にもう一度形ではない本当のクリスマスを思い起す必要があります。

1. まっすぐ神様と生きる！！

あなたの心は素直になれていますか？私達が選ばなければならない事は素直になるということです。クリスマスのこの時に、イエス様のように素直に生きなければなりません。聖書は良い事を書いてある書物ではなく、生き様なのです。生き様が無いと、どれだけ何か上手であろうと、人の心には届きません。人の心に届くものの中にはその人の生き様が感じられます。それをするのは、私達が与えられた人生の中で、真っ直ぐ生きる事です。人の目にはマイナスのように思えることでも神様にとってはそれを益にする事ができます。そのマイナスを克服する時に得られる恵みは、マイナスが無かった人よりも大きいのです。目の前に置かれた人生をどうみるか、大きく物事が変わります。マイナスを悲観して生きればそれまでですが、素直に真正面から受け止めてこれを次の種と思うと人の見方は変わるのです。どう受け止めるかで物事は変えられます！イエスキリストはそれを成し遂げる為に、家畜小屋で生まれて人類の最も低い底辺に生まれました。その時幸せだった人は、彼を蔑みました。この世の中で素直に生きていた人…羊飼いは彼を受け入れました。クリスチャンはこの羊飼いのようで無くてはなりません。私達がしなければならない事は素直になるという決断です。その決断は人生を変えます。素直さを見ていくときに、神様は鳩のように素直で、蛇のように聡くといわれました。聡さとは神様の声を聴く能力の事です。素直になると、神様の声ははっきり聞こえるようになります。

2. 決意！と信念！

親になるということは、信念であり、決意です。イエス・キリストのように我が子たちのために命をかけるという信念です。信念があると誰が何をいおうと平気です。態度や行動に影響は受けません。その為に決意をしなければなりません。“私は影響を受けない！”“私は神様に生きる！”“神様と共に歩む！”しなくてははいけないことはこの決意です。クリスマスは私達がこの事を思い起こす為にあります。大切な事、それはイエス様が主役であるという事です。

3. ネバーギブアップ！

あきらめないで闘うときに神様は、命をもたらしして下さい。ろうそくの炎は輝きます。私達はこの事を自らの人生の掟にしなければなりません。「信念を持って・あきらめずに・イエス様の前に素直に歩む」この3つを諦めてはいけません！

「御手のなかで」
御手のなかで 全ては変わる賛美に
我が行く道にあらわたまえ
あなたの御手のなかで

御手のなかで 全ては変わる感謝に
我が行く道にあらわたまえ
あなたの御手の業を

(要約者:富岡 牧)

(12月3日)